

福井みな子 市政報告



12月定例会は11/30から12/21まで開催され、新型コロナウイルスワクチン3回目接種に関する経費や朝日ヶ丘町に開園予定の認定こども園敷地より出土した転石の処分費用について、また子育て世帯への臨時特別給付金に関する補正予算等が審査され、すべての議案が可決されました。

令和4年度の予算要望書を市長に提出



令和4年度芦屋市予算編成にあたり、令和3年11月25日、自由民主党芦屋市議会議員団として会派予算要望を市長に提出しました。

毎年この時期に行う予算要望は、市民との約束を果たすための大切な取り組みであり、新たな提案の機会です。新年度も引き続き感染症対策を油断なく行いながら、新しい生活様式のなか、経済の活性化、地域力の強化、少子高齢化に伴う様々な課題に取り組む年になります。今後も要望事項が実現できるよう全力を尽くしてまいります。

主な予算要望 ～会派からは90項目の予算を要望(一部抜粋)～

＜予算全体について＞

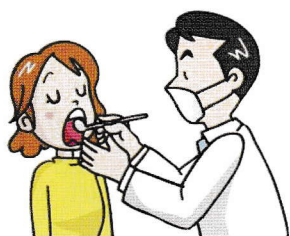
- ・納税者の理解を得られるよう公平でバランスを考慮した予算とすること
- ・明確な目的を持った戦略的施策とそれに伴う予算計上を行うこと
- ・SDGsの視点を取り入れた施策の推進を図ること

＜具体的項目＞

- ・JR芦屋駅南地区再開発事業は市民の理解を得たうえで進めること
- ・公立幼稚園のあり方について将来のビジョンを示すこと
- ・児童生徒の学力強化の施策を進めること
- ・児童虐待の未然防止、早期発見、早期対応に努めること、DV被害者支援取り組みを強化すること
- ・アフターコロナの経済回復に向けた支援事業を推進すること



健康寿命の延伸に向け、歯科健診の充実を求めました



口腔機能の低下は、フレイルの前段階であり、早い時期にその兆候を見つけて口腔ケアを行えば、機能の維持・向上が可能になると言われています。

特に歯周病検診は、疾病の発見のみならず、自己管理能力を高めて豊かな高齢期を迎えることにもつながると言われており、近隣の尼崎市、西宮市、宝塚市、三田市、伊丹市、川西市、猪名川町では40歳、50歳、60歳、70歳の節目健診を実施しています。しかしながら、芦屋市においての現状は、40歳、50歳のみの実施です。今回の一般質問では、他市より遅れていることを指摘したところ、「まずは就労世代にあたる60歳での実施に向けて検討していく」との答弁がありました。今後も引き続き歯科健診の充実に向けて取り組んでまいります。

12月議会トピック

◆子育て世帯へ臨時特別給付金が支給されます

子育て世帯を支援する観点から、現金給付を実施。芦屋市では、年収九六〇万円以上の世帯を除き、0歳から18歳の児童に1人当たり10万円の一括給付をすることが決定しました。

◆新型コロナウイルス追加接種(3回目)について

対象者
18歳以上で、2回目接種後8ヶ月以上経過した方(約6万9千人)

実施期間

令和4年9月30日まで

接種券の送付について

2回目接種から8ヶ月を経過する日の2週間前を目途に送付。(月2回程度に分けて発送)

接種場所

集団接種は保健福祉センター(土日の午後)に実施。1月は日曜日のみ)個別接種は市内個別医療機関

予約方法

1回目の接種同様に、インターネットまたは市のコールセンター(0797-31-0655)



福井みな子の一般質問

一般質問とは、議員が40分の質問時間内に市の事務に対しての執行状況また将来の方針、政策的提言や行政の課題などを執行者に直接質すことです。

健康長寿の実現に向けて～歯科健診・聴力検査導入について～

新型コロナウイルス感染症の拡大は、医療体制、経済、教育などさまざまな領域に多大なる影響を及ぼしました。そのなかでも高齢者に対する影響は大きく、日常生活動作や認知機能の低下など、共生社会において新たな課題が生じているといわれています。感染防止対策の一つとして長期間の活動自粛が求められ、「動かない時間」が増えたことによるフレイルの進行が心配されてきましたが、フレイル予防の今後の展開について質問を行いました。

あらためてフレイルとは、加齢とともに、心身の活力が下がる状態を指し、放置することにより生活機能障害、要介護状態、そして死亡などの危険性が高くなると考えられています。

質問 「新しい生活様式」でのフレイル予防について、考えを問う。

答弁 感染症対策を徹底しつつ、「運動・栄養・社会参加」の3つのポイントを押さえるのが重要。「自宅でできる運動」をあしやトライあんぐるやホームページで紹介、普及啓発に努めている。

質問 厚生労働省は「難聴は認知症の危険因子のひとつである」と、公表し、オレンジプランの中で発表している。難聴の早期発見に向けて、特定健康診査や後期高齢者医療健康診査への聴力検査導入についての見解を問う。

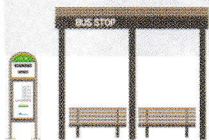
答弁 高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、生活習慣病に関する検査を行うものとされており、現在、聴力検査の対象とはならないが、引き続き国や近隣市等の動向を注視していく。

私の考え

健康である期間を延ばすことは、フレイル状態を遠ざけることにつながることから、全国的にフレイル対策を視野に入れた健康づくりが推進されています。芦屋市でも、広報を活用した発信が行われており、認知度も高まっているのではないのでしょうか。

しかしながら、「フレイルとはなにか」が認識されることのみにとどまらず、実際にフレイル対策の実践につながる事が重要です。たとえば高齢者の方が自身のフレイル度をチェックする。それに対して専門家がアドバイスを提供し、さらには個々に応じた行動変容を促す。そこまで到達して市は初めて、「フレイル予防事業を行っている」といえるのではないのでしょうか。行動変容を促す例としては、個人のインセンティブとなるポイント制度を活用することに向けて、あしや健康ポイント事業の対象に通いの場を加えることを提案します。

健康寿命の延伸に向けた取り組みを効果的に進めるためには、「疾病予防や重症化予防」の健康づくりに向けての保健事業と、介護予防としての「生活機能の改善事業」を一体的に進めていくことが重要であると考えます。



南宮町西バス停に上屋やベンチの設置を要望

これらの設置については、通常バス運行事業者が行いますが、単独での改善には限界があるため、上屋やベンチ設置費用のために寄附を呼びかけたり、民間と連携したりすることが必要なのではないのでしょうか。芦屋市からは、「この状況を踏まえ、バス事業者が設置・維持管理しやすい環境となるよう、バス事業者と協議していく」との答弁がありました。

私の考え

細かな課題かもしれませんが、市民の日常生活に関わる問題でもあり、今後もこうした市民のささやかな願いを受け止める市政であることを願います。

活動報告から

～ハロウィン～



2021.11.10

奉仕団体の活動で西藏こども園を訪問しました。

西藏こども園は、令和3年4月、新浜保育所と伊勢幼稚園の統合により市立のこども園として開園しました。定員は0歳児から5歳児まで186人と規模も大きく、幼稚園と保育園の両方の良さを併せ持ち、教育と保育を一体的に行っています。また、方針の一つとして、家庭・地域社会と連携し、子育て支援の拠点としての役割を担うことが示されています。少し遅めのハロウィンとなりましたが、仮装をして訪問し、読み聞かせやゲームを行い、園児と楽しく交流する機会をもつことができました。



メール fukui.minako@gmail.com ホームページ <http://www.fukui-minako.com> ブログ <http://www.fukui-minako.com/activityreport/>

今年、寅年。虎にまつわる言葉、「虎の子」は、手放せない大切なものを表します。虎が持つ猛々しいイメージとは裏腹に、母虎が愛情深く、大切に子育てをすることにちなむようです。今年は、市議として総括の一年になりますが、虎の優しさに習い、すべての人に対する優しさあふれる社会の実現をめざし、責務を果たしてまいります。

福井みな子



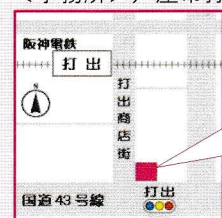
編集後記

プロフィール

H23年 芦屋市議会議員初当選
H27年 2期目当選
H30年 第80代芦屋市議会副議長
H31年 3期目当選
R 1年 監査委員
R 2年 総務常任委員長
R 3年 総務常任委員長

自民党芦屋市議会議員団所属

市政報告 Vol.43 R4年1月発行
＜事務所＞芦屋市打出町1-13



(打出商店街 南入口角)
事前にご連絡のうえ、お気軽にお越しください。

TEL & FAX : 34-0240